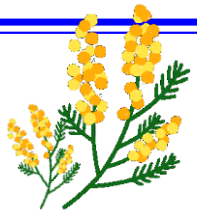
発行日　2024年2月27日

学校だより なでしこ 3月号

横浜市立岡野中学校
横浜市西区岡野2－14－1



花言葉

3学年主任　岡田成人

黄色学年のスローガンは、三年間、毎年花の名前がつけられていました。一年生では「ダンデライオン」、二年生では「ルピナス」、そして今年度のスローガンは「ミモザ」でした。学年だよりのタイトルにもなっているので、みなさんには知られていると思っています。

日本で代表的なミモザの花言葉は「友情」。これは、ミモザの小さく丸い花が、たくさん寄り集まって咲いている姿に由来しているのだそうです。また、ミモザは国によって異なる花言葉をもっていて、イタリアでは「感謝」という意味もあります。「友情」と「感謝」という言葉は、今まさに卒業を目の前にしている黄色学年のみなさんに、とてもふさわしい言葉のように感じます。

この三年間を振り返ると、やはりコロナとの戦いが頭に浮かびます。入学した当初から学校生活に様々な制限があり、行事すらまともに実施できない状況からスタートした三年間でした。学校行事や校外学習、宿泊行事など、検討と修正を繰り返しながら、少しでも充実した活動が行えるようにと、試行錯誤の日々だったことを覚えています。とくに、大きな声を出さなければならない「合唱」への取り組みは制限の対象となり、一年時の合唱コンクールは中止、二年時の合唱コンクールは形を変えての実施となりました。ようやく迎えた三年時の合唱コンクール。西公会堂での各クラスの合唱は、「さすが三年生！」と思わせてくれる本当に素晴らしいものとなりました。その姿は、まさに「たくさんの花が寄り添って美しく咲く『ミモザ』」そのものでした。

中学校三年間、苦楽を共にしてきた仲間と育んだ「友情」と、みなさんを支えてくれた家族や岡野中学校の先生方、地域の方々への「感謝」。この二つの花言葉は、コロナ禍という苦しい状況を一緒に乗り越えたみなさんにとって、より一層大切な言葉になっていると思います。

さぁ黄色学年のみなさん。旅立ちの、そして別れの日が近づいています。

4月からは一人ひとり異なった「新しい道」を歩んでいくことになります。みなさんの世界も今よりも、もっともっと大きく広がります。今は期待より不安の方が大きいかもしれません。それでも、ともに歩んだこの三年間がみなさんの力となり、苦しいとき、壁にぶつかったときに、みなさんの背中を押してくれると信じています。

3月12日　卒業証書授与式。
「友情」と「感謝」を歌声に変えて、大きな花を咲かせましょう。

本年度の「進路指導」を振り返って ～進路学習を通して何を学ぶのか～

進路指導主任 富満 旭

令和６年度入試と呼ばれる今年度の入試が最終盤を迎えています。今年度は公立高校の入試制度が大きく変わりました。まずは今年度の進路関係の主な動きをおさらいしたいと思います。

＜私立高校＞

- インターネットでの出願が主流。[Web で出願⇒必要書類を郵送]のパターンが多い。
- 入試形態は、推薦、専願（単願）、併願、オープンなどがあるが、併願優遇というものもある。
- 選考方法として、筆記試験、面接試験、書類選考、その他学校によって様々ある。
- 「入試相談」を行って受験できる学校は、神奈川県では１校のみとされている。
- 調査書は、学校によっては独自の様式がある。
- 推薦入試を受験するには、高校側の推薦基準を満たすことに加え、中学校長の推薦が必要。
- 私立高校の場合は、１２月に行われる面談で受験する学校を決定する。

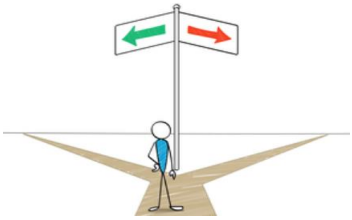
私立高校はほとんどの学校でインターネットでの出願を採用しています。ネットで出願し、必要書類を簡易書留で郵送する形式がほとんどです。また、私立高校の選択の際は、入試相談という制度の理解が重要になります。入試相談とは、高校側が提示する成績などの基準をクリアし、中学校と高校が事前に相談することで合格の可能性が高い状態で試験を受けることができるものです。神奈川県では入試相談をして受験する学校は1校のみとされています。推薦、専願、併願の場合はこの入試相談をする学校がほとんどであるため、私立校は1校のみを受験することが多いです。ただし、オープン入試はこの入試相談を必要としないため、あくまでも受験する学校が複数校の受験を認めている場合ではありますが、複数校の受験が可能な場合があります。

選考方法として書類選考を採用する学校が複数あります。学科試験を課さないため、受験生としては日程的な余裕が生まれ、他の私立高校のオープン受験を合わせて受験するパターンも散見されました。ただし、これには双方の高校側がその受験方法を認めていることが必要になります。

調査書は、神奈川県公立高校で使われる様式が利用できる学校もありますが、独自様式を採用している学校もあります。近年は高校のホームページからダウンロードする形式が増えています。デジタル入力を認めている場合や、手書きの様式であるなど様々ですが、「受験する生徒が担任に状況を説明し、依頼する」、ということをしてほしいと思います。

私立高校は学校によって設置されている学科やコース、受験形態も多岐にわたるため詳しい説明は割愛させていただきますが、受験には“制度の理解”がとても重要になります。また、必要書類が学校によって多種多様なため、これらの把握が必要です。

なお、岡野中学校では12月に行われる面談にて受験校を決定し、以降は原則変更しないことになっています。



＜公立高校＞

・共通選抜においてインターネット出願がスタート。利用にはメールアドレスが必須。
・面接試験が必須の項目ではなくなり、特色検査の一部になった。
・選考方法として、２次選考時に「主体的に学習に取り組む態度」の評価が利用される。
・定通分割選抜の日程が後ろにずれることにより、定通分割選抜の２次募集が廃止。
・志願変更は１回のみ。変更の訂正も、システム承認後の場合にはできない。
・出願システムの基本操作として、生徒が申請⇒担任が承認⇒管理職が承認⇒高校へ提出の流れになる。
・家庭の端末で操作するため、その場で訂正、その場で提出はできない。
・ワンタイムパスワードによる２段階認証のため、登録したアドレスでメールを受信できる端末での操作が必須。
・公立高校の場合も志願校は１２月の面談時におおむね決定するが、変更は可能（ただし、面接シートなどの作成が必要になる場合があるため早い方がよい）。

公立高校は今年度大きく変更があり、面接が必須の検査ではなくなったことと、インターネット出願になったことが大きな変化でした。面接に割り振られていた比率が学力検査と調査書に振られるため、高校の倍率の変動も大きかったようです。

出願は生徒1人に1つのメールアドレスを用意し、出願システムに登録することで、これまで書面で行っていた出願がインターネットでできるようになりました。基本的な操作としては、【生徒が操作⇒担任が承認⇒管理職が承認⇒高校へ提出】という流れになります。家庭の端末を利用しなければならないため、紙面での出願と比べてその場で修正・提出ができないというところはありますが、ほぼ即時で操作が反映される、デジタル処理のため誤字脱字が少ない、24時間操作が可能など、利便性もあります。しかし、メディアによる報道もされましたが Gmail の利用におけるメール受信の不具合というトラブルが発生してしまいました。より制度、機能、操作性の面でも改善をしていく必要があると思います。

公立高校の志願校は12月の面談時におおむね決定しておくとよいです。面接シートの作成などがある場合、私立の出願と公立の出願が重なることが考えられ、煩雑になります。しかしながら、2つの志望校で迷いに迷って最終的に決めたいということも可能です。担任とよく相談して決定していけるとよいと思います。

選考において、「主体的に学習に取り組む態度」の評価が、2次選考時に利用されるという変更もありました。評価観点が3観点になってしばらく経ちますが、主体的に学びに向かうことは進学においても大切とされることになります。

私立高校、公立高校と分けて振り返りをさせていただきましたが、どちらも「自分で選んで、自分で決める」ということが大切になってきます。公立高校の合否結果については2月28日（水）ですので、この便りが発行されるときはまだわからない状態ではありますが、生徒の躍進につながる結果を期待したいと思います。

～進路学習を通して何を学ぶのか～

進路における学習というと、どうしても教科学習、いわゆる成績につながる学習が浮かぶ方が多いのではと思います。実際に入試においては教科ごとに試験が行われるわけですし、より高いレベルの力を養うことについてはぜひ努力してほしいところではあります。しかしながら、学校教育における進路学習は、「教科の力を伸ばす」というただ一点だけのものではありません。進路学習を通して、こんなことを経験しています。進学する場合についてまとめてみました。

○行きたい学校を考える。将来なりたい自分を考える。今何が必要なのかを考える。
⇒自分の希望、将来、目的への努力を「深く考える」
○学校の特色を調べる、出願の方法を調べる、高校への行き方を調べる
⇒やらなければならないこと、またその方法を「調べる」
○わからない問題を質問する、疑問点を聞く、担任に相談する、家族に相談する
⇒他の人と「会話する、相談する、伝える（＝コミュニケーションをとる）」
○進路希望調査を書く、面接シートを書く、その他必要書類を書く
⇒自らの思いを「文字を使って表現する」
○進路希望調査を提出する、願書を提出する
⇒提出物において「期限を守る、マナーを守る」
○必要書類を郵送する、システムに入力し必要な手続きをする
⇒「郵便局を利用する」「システムを操作する」「支払いをする」
○証明写真を撮る、身だしなみを整える、姿勢を正す
⇒「TPOに合わせた行動をする」「礼儀作法を身に付ける」
○選考試験を受ける、面接を受ける、特色検査を受ける
⇒なりたいものになるために「選考を受ける」
（自らの意思だけで決定されない経験をする、また選考されるために努力する）

いかがでしょうか。学び、経験という観点で見れば、これだけの、もしくはこれ以上のことを中学校の進路学習で学んでいます。確かに志望校に合格するために勉強するというのは大きな部分を占めているのですが、志望校合格という結果だけに終始してしまうことは、中学校における進路学習の本質ではないのではと思います。社会に出たとき、いわゆる社会人として生活していく中で必要な能力は、教科の能力だけではありません。進路学習を通してのこれらの学びも、生徒にとって大切な、将来への経験値を積ませるという意義のあるものととらえて私たちは進路指導を行っています。

義務教育の最後を担う我々としては、身体も、能力も、そして心も、大きく成長して次のステージに進んでほしいと願ってやみません。今後とも岡野中学校の進路指導にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

＜3月の主な予定＞

3月6日（水） 3年生を送る会（3･4校時）
3月8日（金） 卒業式予行練習（2～4校時）
３月１２日（火）第７６回・卒業証書授与式
3月14日（木） 2学年･球技大会（5･6校時）
3月15日（金） お別れ遠足（5･6組）
3月21日（木） 1学年･球技大会（5･6校時）
3月22日（金） 大掃除　3月25日（月） 修了式
☆3月26日（火）～4月7日（日）春季休業

＜１・２学年保護者の皆様へのお知らせとお願い＞

2月5日に学校との連絡に使用する新たな連絡ツール『すぐーる』登録に関するプリントを配布いたしました。重要な連絡を確実にお届けするためにも、保護者の皆様全員のご登録を目指しております。ご登録がお済みでない方は2月中のご登録をお願いいたします。３月１日に第１回テストメール配信をいたします。テスト配信が無事終わりましたら、翌週の３月４日より欠席・遅刻・早退等の連絡は「すぐーる」を使う試験運用を開始したいと考えています。ご理解とご協力をお願いします。